

## 5 2009 年度活動記録一覧

---

4月	
1日	研究員2名着任
	エラスムス招へい教員着任 <韓国>
	エラスムス招へい研究員2名着任 <韓国>
	エラスムス研究員派遣 <オランダ>
	第13回拠点委員会
3日	第10回運営委員会
6日	2008年度COE研究成果報告会
7日	2008年度COE研究成果報告会
11日	第5回少女マンガ研究会 「ヤマシタトモコ『恋の心に黒い羽』（少女漫画における男性同性愛の諸問題その1）」
	宋虎根（Song Ho-Keun）先生講演会 「‘公’に抗う‘私’の生成 — 韓国・ロウソク集会における言説分析 “Raising the Private against the Public: The Analysis of Discourse in the Candle Light Rally in South Korea”
15日	エラスムス招へい教員2名着任 <タイ>
	学会発表渡航支援前期募集（～5月31日）
16日	第1回海外オムニバス講義 【～12月10日 / シリーズ全16回】 “Demographic Dividend and the Future of Asia” ①【全4回】 〔クア・ウォンブーンシン（Kua Wongboonsin）先生〕
	第14回拠点委員会
17日	第14回拠点委員会
20日	エラスムス研究員派遣 <オランダ>
23日	第2回海外オムニバス講義 “Demographic Dividend and the Future of Asia” ② 〔パチャラワライ・ウォンブーンシン（Patcharawalai Wongboonsin）先生〕
	第15回拠点委員会
24日	第15回拠点委員会
26日	第6回少女マンガ研究会 「アニメ表現形式の特性と戦闘アニメが表現するイデオロギーの変容」
	第4回“Representation”読書会
30日	第4回“Representation”読書会
5月	
1日	研究員13名着任
	第16回拠点委員会
6日	京都大学・武漢大学 国際シンポジウム「統合される経済のもとでの地域変容と社会政策：中国と日本」
7日	京都大学・武漢大学 国際シンポジウム「統合される経済のもとでの地域変容と社

	会政策：中国と日本」
	第 11 回運営委員会
	第 3 回海外オムニバス講義 “Demographic Dividend and the Future of Asia” ③ 〔パチャラワライ・ウォンブーンシン (Patcharawalai Wongboonsin) 先生〕
	第 17 回拠点委員会
8 日	パチャラワライ・ウォンブーンシン (Patcharawalai Wongboonsin) 先生講演会 “Migrant Children and Youth Workers into Thailand” ④
10 日	第 7 回少女マンガ研究会 「少女漫画における男性同性愛をめぐる諸問題 その 2 (ディスカッション)」
11 日	2009 年度「次世代研究」「次世代研究ユニット」募集 (～6 月 1 日)
14 日	広河隆一氏特別講演会 「ガザ ナクバから 61 年目の現実 — 今、パレスチナ問題の根源に立ち返る」
	第 4 回海外オムニバス講義 “Demographic Dividend and the Future of Asia” ④ 〔パチャラワライ・ウォンブーンシン (Patcharawalai Wongboonsin) 先生〕
15 日	ジェンダー研究会 「ポルノグラフィとジェンダー — ポルノコミックを題材に」
	第 18 回拠点委員会
16 日	国際ワークショップ “Visualizing ‘Japan’: Investigation of Epistemology and Methodology based on Dialogues with Filmmakers”
17 日	国際ワークショップ “Visualizing ‘Japan’: Investigation of Epistemology and Methodology based on Dialogues with Filmmakers”
19 日	カトリーヌ・ヴィダル (Catherine Vidal) 先生講演会 「脳・性・社会」 “Brain, Sex and Society”
22 日	第 19 回拠点委員会
23 日	シンポジウム「美術に見る親密なるものの表象」
	第 8 回少女マンガ研究会 「元少女コミック編集者インタビュー報告会 — 少女マンガにおける編集と作家の関わりについて」
27 日	キャサリン・ウノ (Kathleen Uno) 先生講演会 “Reflections on Childhood and Society in Modern Japan”
	エラスムス教員派遣 <フィンランド>
29 日	第 20 回拠点委員会
30 日	第 2 回女性医師支援に関するシンポジウム「女性医師支援からすべての医師のワークライフバランスへ」

	第5回“Representation”読書会
<b>6月</b>	
2日	リーディングス編集委員会（ソウル大学）
3日	リーディングス編集委員会（ソウル大学）
4日	第12回運営委員会
5日	リーディングス編集委員会（ソウル大学）
	エラスムス招へい教員着任 <インド>
6日	第9回少女マンガ研究会 「高橋真琴から巖喜子へ — 純情マンガにおける『3段ぶち抜きスタイル画』と『瞳に星』」
11日	第5回海外オムニバス講義 “Childhood, Courtship Conjuality and Family in Globalizing India” ①【全4回】 [アンジャリ・バティア（Anjali Bhatia）先生]
12日	第21回拠点委員会
15日	「農業の倫理」研究交流会
16日	アンジャリ・バティア（Anjali Bhatia）先生セミナー “Thinking about a Middle Class Motherhood in Contemporary India” 2009年度「京都大学における男女共同参画に資する調査研究」募集（～30日）
19日	第22回拠点委員会
20日	第10回少女マンガ研究会 「黄金期純情マンガの特徴について」
22日	次世代研究・次世代研究ユニット説明会
24日	第1回コミュニケーション部会 「在日朝鮮人と日本人の「対話」の成立条件の事例研究 — 『パラムせんだい』にみる〈親密な公共圏〉という戦略」
25日	第6回海外オムニバス講義 “Childhood, Courtship Conjuality and Family in Globalizing India” ② [アンジャリ・バティア（Anjali Bhatia）先生]
	第1回歴史研究班研究会
<b>7月</b>	
1日	エラスムス招へい研究員着任 <カナダ> ヒンディー映画上映 I “Dilware Dulhania Le Jaenge”
2日	第7回海外オムニバス講義 “Childhood, Courtship Conjuality and Family in Globalizing India” ③ [アンジャリ・バティア（Anjali Bhatia）先生]
3日	第3回全体研究会「戦後日本におけるジェンダーとセクシュアリティの歴史研究へ

	向けて」(歴史研究班主催)
	第23回拠点委員会
4日	第6回“Representation”読書会
8日	ヒンディー映画上映Ⅱ “Rang De Basanti (Paint it Yellow)”
9日	第8回海外オムニバス講義 “Childhood, Courtship Conjuality and Family in Globalizing India” ④ 〔アンジャリ・バティア (Anjali Bhatia) 先生〕
	第13回運営委員会
10日	2010年度エラスムス(招へい)研究員・教員募集(～9月30日)
	第24回拠点委員会
11日	第11回少女マンガ研究会 「現代マンガにおける農業・農村表象の変遷」
15日	第1回リーディングス勉強会
17日	都市貧困研究会「グローバル化とマージナリティ」 「グローバル化と社会の変容」 「フィリピン・タイの都市貧困問題と国際的ネットワーク」
	ジェンダー研究会 「女性化する国際移動と日本社会 — 香港・中国における『ローカル』な職場と『グローバル』な仕事」
	第25回拠点委員会
18日	国際共同研究「公共圏と『多元的近代』の社会学理論」第4回研究会 「グローカル化の下での『複数の近代』 — 共同体・中間集団・市民社会」
21日	京都大学文学研究科グローバルCOE・ソウル大学日本研究所 国際学術交流ワークショップ
22日	第1回コミュニティ研究会
	第2回コミュニケーション部会
24日	台湾大学・京都大学 東アジア社会学国際学術検討会
24日	台湾大学・京都大学 東アジア社会学国際学術検討会
31日	第1回理論研究班「歴史概念としての親密圏・公共圏の理論的再検討」定例研究会 「公共性論の古典に親密圏の占めるべき位置はあるか? — アーレント、ハーバーマス、トクヴィル」
<b>8月</b>	
1日	「東西の近世美術と親密圏の表象」研究会
	第12回少女マンガ研究会 (花園大学公開講座「夏目房之介のマンガ講座」(夏目房之介による講演)に参加)
4日	2010年度エラスムス(派遣)研究員・教員募集(～10月30日)

6日	第7回“Representation”読書会
7日	第26回拠点委員会
18日	学会発表渡航支援後期募集（～10月9日）
21日	エラスムス招へい研究員（韓国）研究成果報告会
22日	第13回少女マンガ研究会 「映画『ゴジラ』と戦争の記憶」 卒業論文「少女マンガ雑誌の成立プロセスに関する考察（仮）」の中間報告
26日	第3回コミュニケーション部会 「芸術至上主義の社会学 — <ベートーヴェン>にみる芸術と近代」
28日	第2回理論研究班「歴史概念としての親密圏・公共圏の理論的再検討」定例研究会 「現代日本のサブカルチャーの中の公共圏・親密圏」
	第27回拠点委員会
<b>9月</b>	
4日	第28回拠点委員会
5日	第14回少女マンガ研究会 「少女マンガ家インタビューに関する中間報告」
14日	パット・セイン（Pat Thane）先生講演会 “Women and the Public Sphere on Twentieth Century Britain”
	第14回運営委員会
17日	第2回コミュニティ研究会
18日	第29回拠点委員会
23日	第15回少女マンガ研究会 「非都市空間におけるコミュニケーション様態の諸表象について — 岩本ナオ作品にみる地方居住者のリアリティの在り方」 「郊外／非都市的なるものの現在 — 岩本ナオ作品を中心に」
25日	第3回理論研究班「歴史概念としての親密圏・公共圏の理論的再検討」定例研究会 「デモクラシーと家族の親密化 — トクヴィル・モメント番外編」
	第30回拠点委員会
26日	国際共同研究「公共圏と『多元的近代』の社会学理論」第5回研究会 「〈個人と社会〉再考 — 『と』の理論と現在」
29日	第2回リーディングス勉強会（家に関する論文・先祖祭祀と家に関する論文）
30日	JSPS 外国人特別研究員到着 <フィンランド>
<b>10月</b>	
5日	エラスムス招へい教員着任 <ドイツ>
7日	英国科学政策に関するセミナー 英国議会科学技術オフィス所長 David Cope 教授をお迎えして

	“Assessment, Innovation and Evidence: Science Policy in Britain”
8日	第9回海外オムニバス講義 “Feminism and Political Change in Japan and Western Welfare States in Comparative Perspective” ①【全4回】 〔イルゼ・レンツ (Ilse Lenz) 先生〕
9日	第31回拠点委員会
10日	第16回少女マンガ研究会 「マンガ表現におけるページ数制約と主観性表現」
13日	第3回リーディングス勉強会（人口学・地域性に関する論文）
14日	第8回“Representation”読書会
15日	第10回海外オムニバス講義 “Feminism and Political Change in Japan and Western Welfare States in Comparative Perspective” ② 〔イルゼ・レンツ (Ilse Lenz) 先生〕
	第3回コミュニティ研究会
19日	国際シンポジウム「格差社会ドイツにおけるジェンダー政策と家族政策」
21日	第4回コミュニケーション部会 教育実践「外国語学習補助制度」開始（～2010年1月）
22日	第15回運営委員会 第11回海外オムニバス講義 “Feminism and Political Change in Japan and Western Welfare States in Comparative Perspective” ③ 〔イルゼ・レンツ (Ilse Lenz) 先生〕
	結婚移民研究会 『セックスワーカー』とは誰か — 移住・性労働・人身取引の構造と経験
23日	第1回「戦後日本におけるジェンダーとセクシュアリティの歴史研究」研究会 「戦後日本の少女雑誌文化におけるジェンダーの再編成 — 『少女の友』『女学生の友』におけるセンチメンタリズムの排除」
24日	第17回少女マンガ研究会 「マンガ表現の時空（1）（2）（3） — レイヤー分解・少女マンガのコマ・マンガ表現の感性認知記号論」
27日	第4回リーディングス勉強会（北陸地方を中心とした地域性に関する論文）
29日	第12回海外オムニバス講義 “Feminism and Political Change in Japan and Western Welfare States in Comparative Perspective” ④ 〔イルゼ・レンツ (Ilse Lenz) 先生〕

30日	第4回理論研究班「歴史概念としての親密圏・公共圏の理論的再検討」定例研究会 「アンソニー・ギデنزの構造化理論と近代化理論へのいくつかの補足」
	第2回歴史研究班研究会 「植民統治下での公共圏と親密圏を考える — シロハンケツを手掛かりに」
	第32回拠点委員会
31日	国際共同研究「公共圏と『多元的近代』の社会学理論」第6回研究会 「再帰的近代化論と親密圏・公共圏論の布置」 「社会主義近代化に伴う『空虚な個人化』問題 — ハンガリーを事例として」
<b>11月</b>	
1日	ニューズレター3号 “Intimate and Public Vol. 3” 発刊
4日	第9回 “Representation” 読書会
6日	京都大学女性研究者支援センターシンポジウム「研究者になる！」
	第33回拠点委員会
7日	国際シンポジウム「ジェンダーの視点から見るメコン流域の労働と文化」
8日	国際シンポジウム「ジェンダーの視点から見るメコン流域の労働と文化」
9日	ワークショップ “Presenting in English: Workshop and Practice Session” Day 1
10日	第5回リーディングス勉強会（女性労働に関する論文）
11日	次世代グローバルワークショップ運営会議
12日	第16回運営委員会
14日	第18回少女マンガ研究会 「編集者に対する聞き取り調査中間報告」 「ちばてつやインタビュー上映会」
	エラスムス招へい教員着任 <フランス>
16日	ワークショップ “Presenting in English: Workshop and Practice Session” Day 2
	第13回海外オムニバス講義 “Gender and Social Sex Relations: Theories, Methods and Concepts” ①【全4回】 〔ローラン・プフェフェルコン (Roland Pfefferkorn) 先生〕
20日	第34回拠点委員会
21日	第2回次世代グローバルワークショップ「家族は機能しているか？」 The 2 <sup>nd</sup> Next-Generation Global Workshop “Is Family Alive?”
22日	第2回次世代グローバルワークショップ「家族は機能しているか？」 The 2 <sup>nd</sup> Next-Generation Global Workshop “Is Family Alive?”
23日	COE 国際シンポジウム「アジアにおける家族と親密圏」 Global COE Symposium “Family and Intimacy in Asia”
24日	COE 海外拠点パートナー会議
25日	数量調査班会議



26日	第14回海外オムニバス講義 “Gender and Social Sex Relations: Theories, Methods and Concepts” ② 〔ローラン・プフェフェルコン (Roland Pfefferkorn) 先生〕
27日	第5回理論研究班「歴史概念としての親密圏・公共圏の理論的再検討」定例研究会 「カントの啓蒙と『語る書物』」
	第4回コミュニティ研究会
	第35回拠点委員会
28日	第2回「戦後日本におけるジェンダーとセクシュアリティの歴史研究」研究会 「1950年代の雑誌『平凡』に見る、「十代の性」規範の形成」
<b>12月</b>	
3日	公開シンポジウム「若者の社会参入：仕事と新しい生き方」 “Social Inclusion of the Youth: Work and New Lifestyles”
	第15回海外オムニバス講義 “Gender and Social Sex Relations: Theories, Methods and Concepts” ③ 〔ローラン・プフェフェルコン (Roland Pfefferkorn) 先生〕
4日	第36回拠点委員会
5日	国際シンポジウム「変容する親密圏／公共圏」
	第19回少女マンガ研究会 「『マンガの社会学』レビュー」
8日	第6回リーディングス勉強会（沖縄の親族に関する研究）
10日	第16回海外オムニバス講義 “Gender and Social Sex Relations: Theories, Methods and Concepts” ④ 〔ローラン・プフェフェルコン (Roland Pfefferkorn) 先生〕
11日	第13回京都大学国際シンポジウム「学術研究における映像実践の最前線」
	第3回歴史研究班研究会 「境界とジェンダーの視点から再考する近代東アジアにおける親密圏／公共圏と女性の移動 — 八重山女性の植民地台湾への越境と職業移動を事例として」
12日	第13回京都大学国際シンポジウム「学術研究における映像実践の最前線」
	ワークショップ「食の共同圏を支える倫理は何か — 産消間の信頼をめぐる親密性と公共性」
13日	ワークショップ「食の共同圏を支える倫理は何か — 産消間の信頼をめぐる親密性と公共性」
16日	第13回京都大学国際シンポジウム「学術研究における映像実践の最前線」
	M. Thapan 先生 & R. Pfefferkorn 先生セミナー
	第17回運営委員会
17日	結婚移民研究会

	「東海（日本海）を渡る花嫁・花婿 — 内鮮結婚と国際結婚の差異化を通して」
18日	日本学術会議・社会学委員会少子高齢社会分科会 子育て支援・少子化への政策対応に関するシンポジウム
19日	国際共同研究「公共圏と『多元的近代』の社会学理論」第7回研究会 「日本と中国の親密圏と共同性の比較研究 — 〈家・同族〉と〈房・宗族〉の視点から」 「多元的近代とポストモダン」
	第20回少女マンガ研究会 (京都国際マンガミュージアムで開催された国際学術会議「世界のコミックスとコミックスの世界」に参加)
22日	京都大学・ソウル大学 国際学術ワークショップ「コリアン・ディアスポラの親密圏・公共圏の変容」
23日	京都大学・ソウル大学 国際学術ワークショップ「コリアン・ディアスポラの親密圏・公共圏の変容」 第3回「戦後日本におけるジェンダーとセクシュアリティの歴史研究」研究会 「1960年代における少女マンガ雑誌の成立プロセス — 『少女コミック』と『少女サンデー』を例に」
24日	第37回拠点委員会
<b>2010年1月</b>	
7日	第38回拠点委員会
12日	学会発表渡航支援追加募集（～27日） 第21回少女マンガ研究会 「韓国テレビドラマの純情漫画化過程」
13日	RA追加募集（～19日）
15日	第18回運営委員会
18日	セミナー「少子高齢化・労働市場の再編と移民の社会統合」 第4回「戦後日本におけるジェンダーとセクシュアリティの歴史研究」研究会 「韓国純情漫画の歴史」
19日	第7回リーディングス勉強会（パラサイトシングル論などの論文）
22日	第39回拠点委員会
23日	第22回少女マンガ研究会「GCOE 成果報告会準備検討会」
26日	第7回リーディングス勉強会（国際結婚や移民などの論文）
28日	第4回歴史研究班研究会 「近代地方都市の公立名門高等女学校における生徒文化の特徴と構造」 「メディアによる文化的公共圏の再編成」
29日	第40回拠点委員会

2月	
5日	都市貧困研究会「貧困とジェンダー格差の比較分析 — 親密圏と公共圏からの排除と貧困」 “Gender and Wage Gaps: Comparison between France and Japan” 「愛知の貧困と排除：愛知派遣村調査から」 「大阪の貧困と排除：若年不安定就労・不安定住居者聞き取り調査から」 第41回拠点委員会
8日	フィールド調査班労働研究会 「福祉レジームと空間的セグリゲーション」 「日本とカナダの在宅ケア政策」 「香港・上海への日本人の移住」 第10回“Representation”読書会
14日	第23回少女マンガ研究会 (京都精華大学国際マンガ研究センター連続公開研究会「マンガと学術研究 第6回 女性が描く」への参加)
15日	第42回拠点委員会
16日	2009年度COE研究成果報告会
17日	2009年度COE研究成果報告会
18日	第5回「戦後日本におけるジェンダーとセクシュアリティの歴史研究」研究会 「タイにおける日本少女マンガの普及」 第19回運営委員会
24日	第11回“Representation”読書会
26日	第6回理論研究班「歴史概念としての親密圏・公共圏の理論的再検討」定例研究会 「ガラス空間の近代 — 主婦の表象と窓ガラス」
3月	
1日	ニューズレター4号“Intimate and Public Vol. 4”発刊
2日	「戦後日本におけるジェンダーとセクシュアリティの歴史研究」特別セミナー 「包茎の言説史 — 戦後日本における男性の性的身体のイメージ形成」
3日	第20回運営委員会 第43回拠点委員会 第24回少女マンガ研究会 「マツモトトモ『ボーズラブ!!!』を考える会 — BLの強度/ジャンル境界をめぐる諸問題」
12日	京都大学女性研究者支援センターシンポジウム シリーズ 「私の仕事とキャリアデザイン ヴィジュアル/科学コミュニケーションの領域から」 オリヴィエ・ブラン講演会「オランプ・ドゥ・グージュ ～ 18世紀後半のヒューマ

	ニスト」
13日	日本学術会議・シンポジウム「日本のジェンダー平等の達成と課題を総点検する — CEDAW（国連女性差別撤廃委員会）勧告 2009 を中心に」
18日	第 12 回 “Representation” 読書会
19日	第 44 回拠点委員会
20日	国際共同研究「公共圏と『多元的近代』の社会学理論」第 8 回研究会 「再帰的近代化と公共圏・親密圏」 「国際共同研究のまとめと今後の課題」
	第 25 回少女マンガ研究会 「2009 年度の活動総括および次年度の活動について」
26日	ソウル大学教授との交流会
29日	第 4 回全体研究会「音楽に学ぶ社会のあり方」（理論研究班主催）
	セミナー “The Varieties of Welfare Production Regimes in De-industrializing East Asian Economies: South Korea, Taiwan and Japan”